



学校だより

鈴鹿市立加佐登小学校

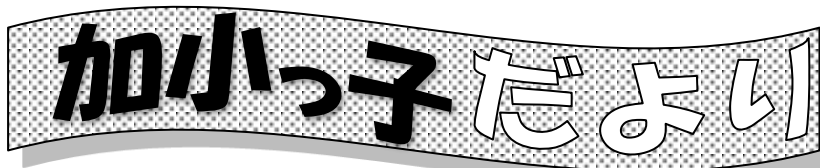
電話 059-378-0063

FAX 共用 059-378-0006

校長 津田 智康

https://www.edu.city.suzuka.mie.jp/eskasado/

めざす学校像＜安心して過ごせる学校＞『今日が楽しく、明日が待たれる学校』



令和7年9月4日 No.9

全国学力・学習状況調査の結果

令和7年4月17日(木)に6年生を対象に実施した「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果が文部科学省から公表されました。

この調査は、児童の学力・学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てることを目的としています。この調査で測定できるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分に考慮し、今後、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきます。

6年生が、粘り強く取り組みました。

1 各教科の平均正答率（単位は％）

	国語	算数	理科
本校 (全国比)	71 (+4.2)	67 (+9.0)	57 (-0.1)
三重県	66	57	56
全国	66.8	58.0	57.1



2 各教科における強み○と弱み▲

国語

○「あつい日」の漢字をていねいに書く（全国比+21.8％）

○話し合いの様子について資料の文章から適切な部分を選ぶ（全国比+19.8％）

▲「かわや」「便所」「トイレ」と同じ意味をさす文章から「世代によってものの呼び方がちがうこと」を選ぶ（全国比-5.4％）

▲ちらしの文章を見て、構成の工夫の適切な説明を選ぶ（全国比-4.9％）

算数

○数直線のもり目が表す数を分数で答える（全国比+22.6）

○分母のちがうたし算をするときの考えを数や言葉で答える（全国比+13.4）

○2種類のグラフから設問に適するグラフを選択し言葉や数を答える（全国比+17.5）

▲「10％増量」の表示から増量後は増量前の何倍かを選ぶ（全国比-4.5）

理科

○発芽の条件について新たな問題を答える（全国比+15.6）

○海面水位の上昇について、水の温度による体積の変化を根拠に予想しているものを選ぶ（全国比+7.1）

▲正しい像を見るために顕微鏡の正しい操作を選ぶ（全国比-15.3）

▲発芽する条件を調べる実験で条件をコントロールした解決の方法を選ぶ（全国比-22.6）

3 児童質問紙の結果

児童生徒質問紙は、子どもたちの生活や学習の様子をアンケート形式で問う調査のことです。生活の諸側面や豊かな心の育成に関わること、学習環境や授業等の教育活動などへの問いがあります。以下に、本校の結果と特徴をまとめました。

【豊かな人間性（自己肯定感、社会への関心等）に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国比
自分には、よいところがある	88.3	85.1	86.9	↑+1.4
将来の夢や目標を持っている	91.2	82.4	83.1	↑+8.1
人が困っているときは進んで助けている	100.0	94.0	93.7	↑+6.3
いじめは、どんな理由があってもいけない	97.0	97.6	97.2	↓-0.2
人の役に立つ人間になりたい	100.0	96.4	96.4	↑+3.6
地域や社会をよくするために何かしてみたい	97.1	82.0	81.3	↑+15.8

※数値は、各質問に「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合(%)

【家庭生活に関すること】

質問項目	本校	三重県	全国	全国比
朝食を毎日食べている	91.2	92.9	93.7	↓-2.5
毎日、同じくらいの時間に寝ている	94.1	80.9	81.9	↑+12.2
毎日、同じくらいの時間に起きている	100.0	91.0	91.0	↑+9.0

※数値は、各質問に「している」「どちらかといえばしている」と回答した割合(%)

【家庭学習・読書の時間に関すること（1時間以上と回答した割合）】

質問項目	本校	三重県	全国	全国比
学校の授業時間以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾等含む)	76.4	50.3	54.0	↑+22.4
土日など学校が休みの日に1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか(学習塾等含む)	64.7	38.0	47.1	↑+17.6
学校の授業時間以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか	11.8	13.5	15.2	↓-3.4

これらの結果から、**各家庭のご協力もあり**就寝や起床時間が安定するとともに自己肯定感等も全国比で高い結果となりました。加えて家庭学習を1時間以上している子どもが全国比で多いことがうかがえます。ただし、全国比で朝の食事が毎日とれていない子どもの割合が多いことや読書の時間が短いといった課題もあります。全体的には良い傾向がみられるものの一人ひとりの子どもにしっかりと向き合うことが大切であると感じています。

今後の取り組みについて

1 各教科の授業での取り組み

本校では、夏休みに職員全員で全国学力・学習状況調査の問題を解き、気づきから各学年で今後取り組むべきことをまとめました。その一部をお知らせします。

★1、2年生

国語 ・声に出して文章を読むことができるようにする。・自分の意見を話した後に書く時間をとる。

・友だちと考えを聞き合う時間を作る。・条件を付けて自分の考えを言葉にする練習をする。

算数 ・算数の用語を用いて学習したことをまとめたり、わかったことを説明したりする練習をする。

・自分自身で解き方を説明する力をつける。

理科 ・「生活」の授業時間に様々なものに触れ合わせて体験を大切にする。

・不思議だなと思ったことや発見したことを話したり書いたりして表現する活動を大切にする。

★3、4年生

国語 ・文章の組み立てを考えてわかりやすく書く活動をする。

・理由や例を挙げて考えを伝える文章を書く取り組みを行う。

算数 ・2～4年生で何倍かが何度も出るため、意味をしっかり押さえる。

・正方形や長方形、平行四辺形などの性質を学習するたびに積み重ねることが大切。

理科 ・3年生で磁石の学習をするが忘れてしまっていることもあるので、5年生の電磁石でもう一度復習することが必要。

・書くことに抵抗があると思われるので授業で普段から考えを書く活動を取り入れる。



★5、6年生

国語 ・問題を読み、内容を理解する力をつけるために、音読を取り入れる。

・漢字クイズや ICT 端末を活用し、楽しみつつ漢字を覚えられるようにする。

・よむ YOMU ワークで要約問題に取り組む。

・問題文で何を聞かれているかをしっかりと意識させる。

算数 ・小数から分数に変換することなど、分数に触れる機会を増やす。

・％(百分率)について、算数の授業だけでなく家庭科や日常生活で取り入れていく必要がある。

理科 ・正答を教え込むだけでなく、条件制御を行い主体的に問題に取り組ませる姿勢を育てたい。また、子どもたちの疑問から発展的な学びを行っていきたい。

★たんぽぽ

国語 ・音読に毎日取り組み、読む力を身につけさせるとともに文章の意味を理解させたい。

算数 ・一日の中で数分でもこれまでの計算問題やそれ以外の基礎問題に繰り返し取り組み、基礎学力をつけさせる。

理科 ・活動の中で生まれる子どもの疑問を授業で大事にしていく。



2 学校行事等、その他の取り組み

- 運動会などの学校行事を通して、それぞれの子どもたちが活躍する場をつくり、自己有用感を高めます。
- 様々な行事での取り組みを振り返る中で、子ども同士が認め合える環境をつくります。
- 図書委員会や読み聞かせなどの取り組みを活用するとともに、学校図書館の利用を促進させ、読書好きな子を増やし、読書量が増えるよう働きかけます。
- 「アウトメディアデー」(2 学期は 9/24・25 と 11/25・26 に予定)の取り組みを継続し、家庭学習や読書をした時間を記録することで、家庭学習と読書の習慣が身につくよう働きかけます。

3 家庭や地域とともに、子どもたちを支えましょう

子どもたちの健やかな成長には、各家庭や地域の力は欠かせません。

次の点を参考にご協力をぜひともお願いいたします。



(1) 子どもの自己肯定感をともに高めましょう

- ・ 子どものよいところ、がんばったことを認め、声をかけてください。

声をかける時には、できたことをできるだけ具体的に伝えるようにしてください。

- ・ 他の子どもと比べるのではなく、前より成長したところ、できたことを見つけ、ほめてください。行動の過程やその具体的な結果をほめるようにしてください。

例:「毎日〇〇を◇◇分間続けることができたから、△△ができるようになったね」

(2) 規則正しい生活リズムを身に付けさせましょう

- ・ 今年度の 6 年生の結果では、ほぼ全員が早寝早起きができていて、このことが学力向上と結びついていると推察されます。今後とも生活リズムが安定するようご協力をお願いします。また、朝食は脳にエネルギーを補給し、午前中の授業への集中につながります。重ねてお願いします。

(3) 家庭で学習する習慣を定着させましょう

- ・ 学校から帰った後、どのように過ごすかをお子様とともに考え、よりよいリズムを作ることができるよう習慣化しましょう。習慣化させるには、最初の数日が重要となり、ご家族のお力も大切です。勉強はやり始めるまでにエネルギーがたくさんいります。やり始めるまでのサポートをお願いします。

(4) 読書習慣を定着させましょう

- ・ 幅広いジャンルの本に触れることで、語彙力や読解力、表現力が養われます。ご家庭でも、ぜひ親子で一緒に読書をする時間を設けたり、図書館に出かけたりしてみてください。

今回の結果を受けて、子どもたちの学力向上に向けて、教職員一同、力を尽くしてまいりますので、引き続き本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。